



## 【直方市の大型事業】

直方市が現在着手している事業、今後、実施予定の事業についてご紹介します。

### 《現在着手している事業》

- ①中泉中央市営住宅の建設  
4棟189戸を計画。現在1棟目が完成。2020年度に2棟目が完成予定です。
- ②直方中央公園の整備  
総事業費約6億円、2018年度工事完了予定です。
- ③小中学校の冷暖房整備事業  
総事業費約1.9億円。2019年度完成予定です。
- ④し尿処理場の建て替え  
総事業費約36億円、2020年度完成予定です。
- ⑤小野牟田・野添線の新設  
総事業費約12億円、街路事業から道路事業へ変更となり、工事完了時期は未定です。

### 《今後、実施予定の事業》

- ①複合施設建設事業  
保健福祉センターをはじめとした老朽化の激しい他の公共施設を集約させた複合施設の建設に関し、基本構想を策定中です。
- ②公営住宅建替事業  
財政状況をみながら、老朽化の進んでいる住宅の集約化を図り、建て替えを検討していきます。
- ③直方市庁舎の改修事業  
築28年が経過し、随所に老朽化が見られます。2013年度に作成した（直方市）庁舎設備長寿命化計画に基づき順次改修を進めています。
- ④芝原ポンプ場整備事業  
築49年が経過し老朽化が著しいため、ポンプ場の改築や導排水路等の整備計画の見直しを検討し中心市街地の雨水対策を行います。
- ⑤植木メカトロビジネスタウン事業  
上頓野産業団地の売売に伴い、整備基本構想及び計画を策定しています。



## 会議録検索システムのご案内

直方市議会の会議録をどなたでも検索、閲覧する事ができます。



直方市議会・議場で交わされた発言の一言一句を会議録としてご覧頂けます。

詳しくは  で

## やすなが 浩之 ひろゆき 市議会議員事務所

〒822-0022 直方市古知1丁目6番1号  
tel.0949-28-8087 fax.0949-28-8020

で



h-yasunaga.jp

# 市政レポート

平成31年1月号《政策進捗報告》

直方市議会議員  
やすなが 浩之 ひろゆき

直方市出身。地元のために全力疾走！

## 所属委員会及び会派

### 特別委員会『議会運営委員会』

議会を円滑に運営していくために、定例会や臨時会の運営方針やその他議会に関する事について協議し、意見調整を行う場として設置されている委員会です。副委員長として、議会運営の適宜改善に努めてまいります。

### 常任委員会『教育民生常任委員会』

市民部及び教育委員会の所管する事項について、担当する事務の調査や、議案・請願・陳情などの審査を行います。また、委員会より以下の委員に選出されています。

・直方市国民健康保険運営協議会委員

### 会派『静燃会』

高齢者福祉・地域活性化・教育問題と政策に共通項の多い「三根議員」と会派を結成しています。



### 地域・産業

#### 《一般県道直方北九州自転車道線》

来年の開通に向けて、著名サイクリストのアドバイザー就任が完了し、市内商業施設へのアンケート調査、サイクルスタンドの制作イベント等が今後実施される予定です。

#### 《企業誘致適地調査》

上頓野産業団地の完売を受け、植木メカトロビジネスタウンについて、どのエリアが適しているのか、また、造成するに当たっての区画の広さ、さらには誘致企業のニーズ調査などを行い、整備基本構想及び計画を策定しています。

#### 《ふるさと納税》

地域活性化を目的として始まったふるさと納税制度ですが、豪華な返礼品を用意して寄附金額を奪いあう競争が激化していることを受け、還元率の高い返礼品や地場産品でない返礼品を用意している自治体をふるさと納税制度から外すことも視野に入れ、制度の見直しが検討されています。制度のルールを順守し、返礼品提供にご協力頂いている事業者の方々への十分な説明対応を行うことに加え、企業版ふるさと納税の実施についても要望いたしました。



### 教育・文化

#### 《小中学校施設整備事業》

小中学校のトイレ改修事業、防災機能強化事業は完了し、本来、平成 32 年度に完了予定であった空調設備設置事業（普通教室へのエアコン設置）も 1 年間繰り上げて平成 31 年度完了の見込みとなりました。

#### 《中学校完全給食の現状》

平成 29 年 9 月から開始した選択制・テリバリー方式での中学校給食利用率は、当初予定の 60% に対し 45% 前後と、利用率が伸び悩んでいる状況です。しかしながら、給食実施に対する喜びの声も多く、アンケート結果などを参考に改善に努力して頂くよう教育委員会へ要望しています。

#### 《放課後学習支援》

地域住民等の参画により、放課後に子供たちへの宿題などの指導を行うことを目的として、平成 27 年度より段階的に始まった制度ですが、4 年経過以降は学校及び PTA の自主運営が条件となっています。継続を要望する声も多く、ボランティア運営への移行を原則としつつも、教育委員会を中心とした学校間格差が生じることのない制度構築を要望しています。



### 医療・福祉

#### 《複合施設整備基本構想》

一旦、白紙となった保健福祉センターですが、改めて取り組むこととなり、老朽化の激しい他の公共施設を集約した新たな複合施設の建設に向けて、市民の声を生かした、市民の集える施設とすべく、構想を策定中です。

#### 《直方市総合事業》

介護保険制度の改正により、現在の要支援者への介護サービスの一部である「介護予防訪問介護」と「介護予防通所介護」が、全国一律で提供されるサービスから、市町村が実施する地域支援事業へと移行され、「介護予防・日常生活支援総合事業」として実施されることとなりました。

#### 《障がいによる差別を解消し共生社会をめざす直方市条例》

障がいのある人が、障がいに対する誤解や偏見により不利益な取り扱いを受けたり、配慮不足によって日常生活の様々な場面で不自由を感じることがないような差別のない社会の実現を目指し、障がいのある人もない人も全ての人が個人として尊重される共生社会を実現することを目的として制定されました。



### 防災

#### 《防災・災害対策に関する対応》

『平成 30 年 7 月豪雨』災害の教訓を活かし今後の防災に繋げるため、災害対応検証会議や災害アンケート調査を実施し、そのご意見を参考にしながら、避難所の運営方法や情報伝達の方法、災害時の備蓄品等について、検討・対応を進めています。また、日の出橋～勤六橋間の川西側堤防改修工事や河底の川砂採取・残置物除去について、要望を行っております。

#### 《直方市太陽光発電設備設置事業に関する条例》

国の再生可能エネルギー推進施策や環境意識の高まりにより、太陽光発電などの再生可能エネルギー発電施設は、全国的に設置件数が増加しており、特に大規模太陽光発電施設の設置が進んでいます。これに伴う大規模な森林伐採などによる災害の発生、防災への悪影響が懸念されるとともに、事業者と周辺住民とのトラブルが発生している事例も見受けられます。本市では、災害の防止、生活環境の保全及び発電設備の安全性の確保を図るために条例を制定しました。

